

図書委員・書評コンテスト

第2位

3作品



三田学園図書委員会

# 世界でいちばん素敵な 元素の教室

著者名：森山 晋平

出版社：三才ブックス

高校1年

「元素」と言われて何を思い浮かべるだろうか。私たちの呼吸に必要な酸素だろうか、はたまたダイヤモンドの構成元素である炭素だろうか。元素は私たちに身近なところにあるが、あまり馴染みのないものでもある。少しの疑問から、元素に興味を持ってみてはどうだろう。

この本では、小さな疑問を解決する形で様々な元素が紹介されている。化学の授業で覚えるのが大変だった元素も、美しい写真と合わせて楽しく覚えられる。ぜひ、この本を手に取り、自分の好きな元素を見つけてみてほしい。

# 海と毒薬

著者名：遠藤周作

出版社：新潮文庫

中学3年

戦争は人類を狂気へと誘う。

第二次世界大戦下の日本軍が平然と行った生体解剖。当然気付くべき事に気付かず、そして時に気付かないふりをしてまで、戦争という狂気のさ中で人は間違った方向へ間違った方向へと迷いなく突き進んでいく。

その間違いに気付いてしまった時、果たして人に救いはあるのだろうか。

何が人を狂気へと向かわせるのか、そしてその狂気の中での正常とは何なのか『海と毒薬』を読み終えた時痛烈に感じたこの疑問に私はまだ答えを出せずにいる。

# トリツカレ男

著者名：いしいしんじ

出版社：新潮文庫

中学3年

「何かに本気でとりつかれるってことはさみんなが考えてるほど、馬鹿げたことじゃないと思うよ」

「キミが本気を続けるなら、いずれ何かちょっとしたことで、報われることがあるんだと思うよ」

多趣味な人には共感を、無趣味の人には一歩踏み出す勇気をくれる。

何かに没頭して何かを極めることは、人生への大きな力になる。

今何かに踏み出せずにいるあなたに読んでほしい一冊です。

どうぞ手にとってください。